

# 専門部会だより

<b>役員会</b>	オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツ推進委員に今できることを、しっかりと身に付け、協力していきましょう。
<b>事業部</b>	今年度より、2020東京オリンピック・パラリンピックにて本区で開催される「カヌー・スラローム競技」の普及活動を行ってまいります。第一弾となるカヌー教室（7月2・3日）のご協力ありがとうございました。
<b>企画部</b>	今年度は当5ブロック研修の当番区となっています。内容について鋭意検討中です。皆様のご協力が不可欠なので、よろしくお願いいたします。
<b>広報部</b>	今年度は、オリンピック・パラリンピックに関わる記事をできるだけ取り上げていく予定です。何かイベントや情報等がありましたらご提供ください。よろしくお願いいたします。

# 地区部会だより

<b>小松川</b>	6月26日(日)	グラウンドゴルフ
	7月17日(日)	ドッジビー
	9月25日(日)	ドッジビー
<b>中央</b>	9月8日(木)	中央地区OB会
	10月23日(日)	中央一之江ふるさとまつり
<b>小岩</b>	10月18日(火)	スポーツ教室「グラウンドゴルフ」(小岩第二中学校)
	10月26日(水)	
<b>鹿骨</b>	7月9日・16日(土)	ドッジビー・グラウンドゴルフ(新堀小学校)
	9月10日・17日(土)	ドッジビー・グラウンドゴルフ(篠崎第五小学校)
	10月1日(土)	ラージボール卓球(篠崎第五小学校)
<b>東部</b>	7月3日(日)	第50回瑞江地区青少年健全育成野球大会 (水辺のスポーツガーデン)
	7月10日(日)	
<b>葛西</b>	7月2日・9日・16日・23日(土)	中高年スポーツ教室「ナイトウオーキング」
	7月18日(月・祝)	工作教室と釣り大会(葛西第二地区委員会)
	8月20日・27日(土)	中高年スポーツ教室「ナイトウオーキング」

江戸川区 **スポーツリーダー**

**スポーツ推進委員会** **S/L** 編集：広報部 NO.378

## スポーツ振興課長 あいさつ

### 東京2020オリンピック・パラリンピックの成功に向けたスポーツ指導者の重要性

江戸川区西小岩在住の池江璃花子選手(競泳)のリオデジャネイロ五輪への出場が決まりました。7種目での出場は快挙です。ぜひ、最高の泳ぎをして、金メダルを勝ち取って欲しいと思います。皆さんで応援しましょう！そして、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックまであと4年となりました。区内ではカヌー・スラロームの競技が開催されます。そのため、2020年に向けてカヌーを盛り上げようと、今年の3月には、区内のカヌー愛好家3団体が連携し『江戸川区カヌー協会』を設立しました。今夏には、同団体と区が協力して、学校カヌー教室20校、区民カヌー教室20回(参加者数想定 延べ1,000人規模)を開催します。さらに、江戸川区は、パラリンピックも見据え、今年の4月にスポーツ振興課内に障害者スポーツ係を新設しました。障害者スポーツの魅力発信と障害者のスポーツ参加を応援していきます。これから江戸川区のスポーツ界はさらに熱くなりそうです。

他方、我が家でもスポーツが熱いです。最近、3歳になった息子が球技に興味をもち始め、野球がしたいと言い出しました。

「パパ、光(ひかる)、野球がしたい。」  
 「そうか、光くんは野球がやりたいのか。嬉しいな。昔、パパも野球をしていたんだよ。」  
 そう言って、幼児用のボールを手渡すと、おもむろに蹴り始めた。  
 「光くん、ボールは蹴るんじゃなくて、投げるものだよ。サッカーじゃないんだから。」  
 「ひかる、サッカーがしたい。」  
 「あれ？野球じゃなくて？」  
 「サッカーと野球。ひかる、バットも打ちたい。」  
 「そうか、じゃあ、パパが教えてあげるよ。」



さて、そうは言ってみたものの、私自身、サッカーと野球の経験はありますが、よく考えたら教え方がわかりません。これまで、私は習う側の人間であり、他人に教えたことがないからです。息子はまだ幼児なので、最初は“見よう見まね”でもいいかもしれませんが、やはり基礎が大事です。教えるならしっかりと教えたい。学びながらも楽しんでもらいたい。特に子どもにはルールなどのやり方だけでなく、楽しみ方、技術、用具を大切に作る心、友だちに対する気遣い、敢闘精神なども教えたい。しかしながら、結局、3歳の息子への指導は考え過ぎず、野球はキャッチボールとトスバッティング、サッカーはボール蹴りの相手になるだけにしました。

スポーツは指導者が重要です。それは子どもに対してだけでなく、大人に対しての指導でも言えることであり、“教える技術”をもつスポーツ推進委員の皆様の存在と役割は大きいと言えます。中でも、障害者スポーツの指導には「障がい者スポーツ指導員」という特殊な資格があり、障害の状況に応じた特別な指導や配慮が必要になります。今後、区ではその資格を取得するための機会もつくっていきたくと考えています。

東京オリンピック・パラリンピックの成功は、日々のスポーツ振興の積み重ねの先にあります。日頃からより多くの区民の方にスポーツを観戦してもらい、参加してもらい、楽しんでもらう。スポーツを大好きになってもらうことが成功の秘訣だと考えています。そのためには、スポーツ推進委員の皆様の協力は不可欠です。私もスポーツ振興課長として、デスクワークばかりでなく、自身も競技者としてスポーツを楽しみながら、指導者として教えられるようになりたいと思っています。そして、スポーツ推進委員の皆様と連携し、たくさんの区民の方にスポーツの魅力を伝え、参加してもらえるように努めていきたいと思っています。まだまだ未熟な私でございますが、皆様とともに汗を流し、これから成長していく覚悟です。皆様のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

スポーツ振興課長 渡邊良光

# 新人紹介

平成 28・29 年度は、スポーツ推進委員に 3 名(男性 2 名、女性 1 名)の新メンバーが加わりました。どうぞよろしくお祈りします(敬称略)。



井上 こそえ いのうえ こそえ (鹿骨地区)

- ❖ 出身地：墨田区緑
- ❖ スポーツ歴：小学校体育
- ❖ 趣味：映画鑑賞、読書、散歩
- ❖ ひとこと：江戸川区の小学校 5 校を回り、初めて赴任した春江小学校に帰ってきました。子どもも大人もスポーツを楽しめるお手伝いできればと思っています。



景山 賢治 かげやま けんじ (東部地区)

- ❖ 出身地：埼玉県久喜市
- ❖ スポーツ歴：ソフトテニス、柔道、パワーリフティング、ジョギング、アーチェリー
- ❖ 趣味：プランターで野菜や花の栽培
- ❖ ひとこと：いろいろなスポーツを経験してきました。区民の方がもっとスポーツに親しめるように、活動をしていきたいと思っています。



林 眞 はやし まこと (小松川地区)

- ❖ 出身地：江戸川区平井
- ❖ スポーツ歴：野球、テニス
- ❖ 趣味：ソーシャル・ネットワーキング・サービス(フェイスブック、ツイッター、Google+)
- ❖ ひとこと：経験者の皆さんからご指導いただいて、一日も早く戦力になるよう頑張ります。

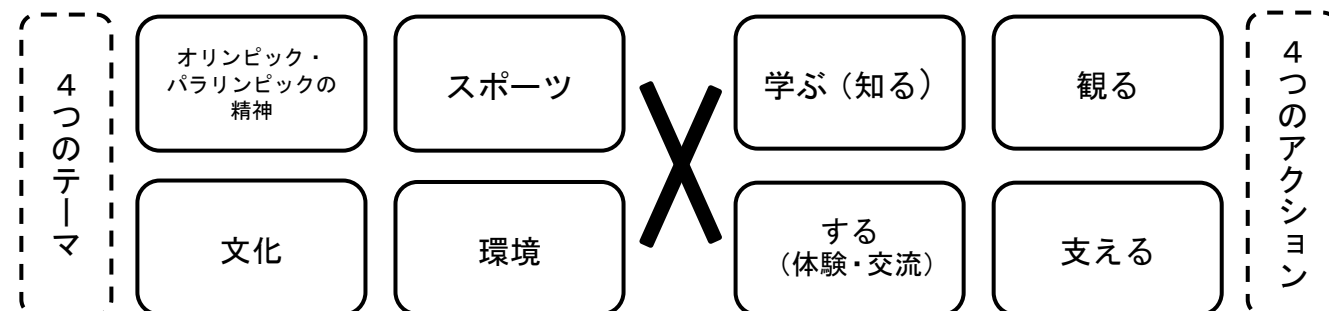
## ~~ 学校スポ推の連載 ~~ オリンピック・パラリンピック教育

東京都教育委員会は今年度より都内全公立学校で実施するオリンピック・パラリンピック教育の愛称を「ようい、ドン!」と決定するとともに、オリンピック・パラリンピック教育の主な事業内容を紹介しています。



### ○取組に当たっての基本的枠組み

学習指導要領の目標達成を目指し、各教科等の学習内容・活動とオリンピック・パラリンピックを関連付け、「4つのテーマ」と「4つのアクション」を組み合わせた取組を展開していきます。



### ○5つの資質を伸ばすための4つのプロジェクト

上記の取組により、5つの資質(ボランティアマインド、障害者理解、スポーツ志向、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚)を重点的に育成します。さらに、この重点的に育成すべき5つの資質を伸ばすために、以下の4つのプロジェクトを推進していきます。

#### ①東京ユースボランティア (Tokyo Youth Volunteer)

各校が普段から取り組んでいる地域清掃、地域行事、地域防災活動、スポーツ大会、障害者・高齢者施設でのボランティア等、社会奉仕の精神を養う取組を充実させます。

#### ②スマイルプロジェクト (Smile Project)

高齢者介護施設や障害者施設の訪問、障害のある人が感じる不便や不安を直接体験する体験活動、障害者アートの鑑賞、特別支援学校との交流、障害者スポーツの観戦や体験等、思いやりの心を育てる取組を充実させます。

#### ③世界ともだちプロジェクト (Global Friendship Project)

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに参加予定の国の中の5か国について、幅広く学んだり、可能なかぎり交流を深めたりする活動を展開していきます。

#### ④夢・未来プロジェクト (Dream/Future Project)

オリンピック・パラリンピアン等を各学校に派遣し、直接交流の機会を設け、スポーツへの関心を高めるとともに、夢に向かって努力したり困難を克服したりする意欲を培います。

以上のような方針のもと、各学校において創意工夫しながらオリンピック・パラリンピック教育を推進していくこととなります。また、東京都教育委員会は『オリンピック学習読本』を作成し、4年生以上の児童・生徒にも配布しています。学校現場でのオリンピック・パラリンピック教育について、これからも学校スポ推の連載の中で紹介していければと思います。